

技術提案書記載要領

各様式の記入や添付書類の作成にあたっては、下記の事項に留意すること。
また、表紙を除き、提出者の組織の名称を記載しないように注意すること。

A 表紙「技術提案書」（A4版1枚）

様式0-1（設計共同体の場合は様式0-2）を提出すること。

提出者欄は富山県における建築コンサルタント競争入札参加資格審査申請書に記載した住所、照合又は名称、代表者名、電話番号を記載するものとし、合わせて事務所のFAX番号及びE-mailアドレスを記載すること。

B 様式1（A4版1枚）

本業務における取組み体制、設計チームの特徴、特に重視する設計上の配慮事項（様式3に記載する内容を含むことを可とする）を簡潔に記載する。

なお、提出者（設計共同体の構成員、協力事務所を含む）を特定することができる内容の記述（具体的な社名等）を記載してはならない。

C 様式2-1～2-2（A4版計2枚）

① 氏名

技術者の氏名を記載する。

② 生年月日

技術者の生年月日及び年齢（提出日現在）を記載する。

③ 役職

技術者の所属する建築士事務所における役職を記載する。

④ 保有資格等

技術者の実務経験年数及び建築士会継続能力開発（CPD）制度による取得単位がある場合は、直近1年（平成30年4月1日～平成31年3月31日）における取得単位を記載する。

保有資格は一級建築士または、二級建築士について記載するとともに、構造設計一級建築士、設備設計一級建築士、建築設備士等の建築設計業務にかかる技術者資格を保有する場合はその旨を記載する。

⑤ 設計実績

対象となる実績は次の全ての要件に該当するものとする。

ア 延べ面積500㎡以上の建築物（戸建住宅、車庫、倉庫を除く）の新築または増築工事の実設計実績であること。

イ 平成21年4月1日以降に完成又は工事着手した建物の設計業務実績であること。

ウ 建築意匠での設計業務実績であること。

実績は、今回の管理技術者及び意匠担当主任技術者が携わった業務を選定し3件まで、記載する。これらに記載した業務実績のうち、各技術者ごとに、代表的な1施設について「2-2 管理技術者（担当主任技術者）の業務実績」を作成すること。

各項目の記載内容は以下による。

- ・業務名：業務の名称を記載する。
- ・発注者：契約の相手方を記載し、再委託を受けた業務の場合は、（ ）内に再委託と記載する。
- ・業務概要：用途、構造、階数、延べ面積及び、携わった立場（管理技術者（※1）、各担当主任技術者（※2。分野別も記入）又は担当技術者（分野別も記入））を記載する。
 - （※1）「管理技術者」とは、「建築設計業務委託契約書(案)」第14条の定義による。
 - （※2）「各担当主任技術者」とは、管理技術者の下で、各担当業務分野における担当技術者を総括する役割を担う者をいう。
- ・工事種別：対象工事の工事種別（新築、増築、改修）を記載する。

・完成年月：対象施設の完成年月、又は完成予定年月を記載する。

なお、提出者（設計共同体の構成員、協力事務所を含む）を特定することができる内容の記述（具体的な社名等）を記載してはならない。

D 様式3-1（A3版計2枚）

(1) 作成上の基本事項

プロポーザルは、設計業務における具体的な取組み方法について提案を求めるものであり、当該業務の具体的な内容や成果品の一部（詳細図面、模型写真、透視図等）の作成や提出を求めるものではない。具体的な設計作業は、契約後に技術提案書に記載された具体的な取組み方法を反映しつつ、発注者が提示する資料に基づいて発注者と協議の上開始することとする。

(2) 次の4つのテーマに関する提案を、A3版横用紙2枚に適宜まとめて記載する。

① ゾーン全体のコンセプト及び整備の考え方について

- ・現在の4棟のうちいずれかを創業支援施設（1棟）、U I Jターン者・起業家等住居（2棟）としてもよい。
- ・3棟及びその周辺の活用内容を具体的に記載すること。
- ・馬場記念公園や富岩運河などの景観や周辺のつながりに配慮すること。
- ・より多くの入居者を確保するため、賃料を低廉に設定することとしているため、利便性を考慮したうえで、簡素な仕様とし、予算の建設工事上限額の範囲内で、できるだけ工事費を下げた提案とすること。
- ・利用・入居者、また、施設来訪者を呼び込み、賑わいを創出する提案とすること。

② 創業支援施設について

- ・高校生のプランをもとに、より魅力的な内容を提案すること。なお、創業支援施設における交流のためのコモンテラスの設置及び coworkingスペースの配置については必須とする。また、コモンテラスの設置階数については自由提案とする。（必ずしも4階までの設置ではなく、経済的かつ機能的な提案とすること。）

③ U I Jターン者・起業家等住居について

- ・居住者の対象はU I J、Tターン者、起業家、外国人技能実習生等であり、単に居住するだけでなく相互の交流が図られるような工夫について提案すること。
- ・創業支援施設との連携を考慮すること。

④ 富山県の産業活性化及び魅力発信に向けて

- ・行政（富山県、富山県新世紀産業機構等）等との連携について記載し、「6 富山県の事業について」を考慮した提案を行うこと。
- ・本施設等の整備が全国的に注目され、富山県の多彩な魅力を県内外に発信できるような提案とすること。

(3) 提案の作成に当たっては、以下の事項に留意すること。

① 課題に対する提案は2枚の用紙に収め、基本的考え方を文章で簡潔に記述すること。

② 文章を補完するための写真、イラスト、イメージ図は使用してよい。

③ 提出者（協力事務所を含む）を特定することができる内容の記述（具体的な社名等）を記載してはならない。

E 様式3-2（A4版1枚）

① 「1 施設名」について

3棟の施設名を提案すること。（現在は、富山県創業支援施設・U I Jターン者等住居（仮称）となっているため、参考とすること。）

なお、名称の対象範囲は、各棟ごとでも3棟まとめたものでも構わない。

② 「2 3棟の愛称」

3棟の愛称を提案すること。

なお、名称の対象範囲が、3棟まとめたものとする。

③ 「3 ゾーン全体の愛称」

3棟及びその周辺をゾーンとした愛称を提案すること。

F その他関連資料

上記の他、関連資料があれば提出することも可とする。ただし、提出者（設計共同体の構成員、協力事務所を含む）を特定することができる内容の記述（具体的な社名等）を記載してはならない。

G 提出書類の体裁

技術提案書は、{表紙、**添付書類**}を綴じたものを1部と、{様式1、2-1、2-2、3-1、3-2、関連資料}を綴じたものを15部提出すること。

なお、片面印刷で左ホッチキス2箇所留めとし、製本等をしてはならない。